

全施連 ニュース

発行者
一般社団法人
全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
編集
全施連広報部会
住所
〒650-0016
神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター内

『新しい施設を語ろう、当事者の笑顔輝く日のために』を

テーマに福岡大会を開催

平成28年10月18日(火)～19日(水)に福岡市のホテルセントラザ博多において、全施連第12回全国大会が『「新しい施設」を語ろう当

事者の笑顔輝く日のために』をテーマに六五〇名以上の参加のもと開催された。冒頭に、相模原殺傷事件の犠牲

主催者を代表して八木トミエ福岡県知的障害者保護者会連合会

長は「本大会のテーマである

のテーマである二十四時間

開会式

支援と入所施設で快適に暮らせる終の住処としての新しい制度新設をいかに実現するかについて家族

だけではなく、経営者・職員の皆様とともに一歩一歩前進させていくような大会としたい」と開会宣言を行った。

主催者を代表して、全施連由岐透全施連理事長が来賓と大会参加者に謝辞の後、冒頭今回の相模原

殺傷事件について触れ、犠牲者への弔意哀悼を表すとともに、「防

者を悼み、黙祷が行われ、プログラムに基づいて基調講演、シンポジウム等が実施され、大会2日目も厚生労働省から講演、全員参加型討論会と決議文の採択が行われた。

小賀 久教授(北九州市立大学)

基調講演

北九州市立大学教授 小賀 久氏

「新しい施設を語ろう、当事者の笑顔輝く日のために」をテーマに開催された。冒頭に、相模原殺傷事件の犠牲者への弔意哀悼を表すとともに、「防

犯も重要だけど、このような誤った思想を持った人を生み出さないために、社会のひずみを是正して行くことが大切だ」と述べた。

また全施連は今回の全国大会テーマの実現に全力で取り組んでいくと決意を強調し、主催者挨拶とした。

言「新しい施設のあり方」を公表したが、現在PT会議で提言IIを検討中で、その中では①生活の自由度の拡大 ②他者との親密な人間関係 ③全施連なりの地域生活論の確立 ④高齢者知的障害者への対応、などを固めていく予定であると現在の取り組み状況を述べた。

大きく4つのテーマで講演をされた。

4つとは①障害者総合支援法3年目の見直し内容、②地域生活支援拠点の問題、③報酬改定、④障害児者のサービスの問題であった。

①現在の「障害者総合支援法」は法律としてよくできていると思っ

ている。厚生労働省としては過去10年間は制度が大きく変わ

りすぎたので、今の制度を何とか定着させて、少しずつ手直ししていき

たい。②高齢(65歳)障害者問題である。基本は介護保険優

先で介護保険制度への移行が出来ないかである。国は介護保険優先が原則だが、ただ障害福祉と

厚生労働省講演概要

厚生労働省障害福祉部障害福祉課課長補佐 菅 洋一郎氏

介護保険の両制度の橋渡しが出来ないか、具体的にどう解決していくかを等を中心に考えている。

③報酬改定の問題である。障害福祉分野への人材確保のための職員処遇の改定で障害福祉職員配置加算等を行った。

次の改定は平成30年だが診療報酬・介護報酬・障害報酬の改定が同時に行われる年に当たるので、一言でいうと厳しい。

厚生労働省としては何を優先して行うかを決めなければならぬ。④障害児者のサービ

スの問題である。このテーマは共生社会に実現の問題である。

厚生労働省の試案を提示している。等述べて、引き続き当事者・関係者との対話を行っていきたいと述べた。

宗澤忠雄コーディネーター(埼玉大学准教授)、小賀久フアシリレーター(北九州市立大学教授)で、シンポジストは八木トミエ氏、南守氏、岩崎良員氏の3氏で、テーマは「『新しい施設』を権利条約ベースで深めよう」権利条約を障害のある人たちとともに、支援・制度を良くする絶好の機会と捉える」で行われた。

宗澤コーディネーターからは、冒頭「障害者権利条約は入所施設を否定していないが、入所施設はそのあり方を今後、抜本的に変更していく必要があり、それは①入所施設に至るまでの意思決定支援②施設支援と生活の内容に

関する意思決定支援 ③徹底した虐待防止と合理的配慮の取り組み ④施設内・法人事業内生活ではなく、社会的に包容された地域生活の実現である。かつこれはグループホーム、アパート、自宅いずれの生活形態であれ、共通に問われる課題である」と指摘した。

また、小賀フアシリレーターからは「『新しい施設』は障害のある人達を中心に、

シンポジウム 当事者が望む新しい施設を語ろう

宗澤コーディネーターからは、冒頭

「障害者権利条約は入所施設を否定していないが、入所施設はそのあり方を今後、抜本的に変更していく必要があり、それは①入所施設に至るまでの意思決定支援②施設支援と生活の内容に

関する意思決定支援 ③徹底した虐待防止と合理的配慮の取り組み ④施設内・法人事業内生活ではなく、社会的に包容された地域生活の実現である。かつこれはグループホーム、アパート、自宅いずれの生活形態であれ、共通に問われる課題である」と指摘した。

また、小賀フアシリレーターからは「『新しい施設』は障害のある人達を中心に、

また、施設での支出で職員給与への支出比率を75%以上となる等に決めるなどガイドラインを決めたらどうか。

また、施設での支出で職員給与への支出比率を75%以上となる等に決めるなどガイドラインを決めたらどうか。

また、施設での支出で職員給与への支出比率を75%以上となる等に決めるなどガイドラインを決めたらどうか。

閉会式

平成29年度の全国大会秋田大会は、平成29年10月3日(火)〜4日(水)に秋田市で開催される。

大会日程の最後に大会決議文の採択を行い、大会旗が次回開催県の秋田県に引き渡され、全施連全国大会福岡は盛會裡にて終了した。

大会日程の最後に大会決議文の採択を行い、大会旗が次回開催県の秋田県に引き渡され、全施連全国大会福岡は盛會裡にて終了した。